

令和7年度 第8回教育委員会会議録

日 時 令和7年11月17日（月） 13時00分～13時57分

場 所 教育委員会 3階会議室

議 題

報告事項

- (1) 全国学力・学習状況調査の結果を受けて
- (2) おわせっこ共育フェスティバルについて
- (3) 子育て HAPPYDAY 「HAPPY ワーク in にやんにやん王国
～仮想のまちでおしごと体験！～」について

審議事項

- (1) 尾鷲市奨学金貸与条例の一部を改正する条例（案）について
- (2) 令和7年第4回定例会一般会計補正予算（第7号）（案）について
(教育総務課・生涯学習課)
- (3) 文化財指定申請物件の答申について

出 席 者

教育長	田中 利保
委員（職務代理者）	内山 善嗣
委員	北裏 佳代
委員	米倉 すが
委員	榎本 加奈子

出席事務局職員

教育総務課長	柳田 幸嗣
教育総務課調整監	渡邊 史次
生涯学習課長	世古 基次

教育総務課主幹兼総務係長	柳瀬 誠
--------------	------

13時00分 開会

教育長：みなさんこんにちは。只今から、令和7年度第8回教育委員会の会議に入ります。前回会議録署名委員はA委員とB委員でした。今回会議録署名委員はB委員とC委員ということで、よろしくお願ひします。最初にインフルエンザの話をさせてもらいます。11月15日（土）に輪内中学校で文化祭の予定だったんですが、金曜日に輪内中学校でインフルエンザの子どもが始めたので、12月13日（土）に延期することを決めました。11月26日（日）は尾鷲中学校の文化祭でしたが、1年1組の3分の2くらいがお休みで、10人くらいしか来なかつたので、急遽帰つもらいました。今日・明日は振替休日となり、明日ぐらいには状況を掴んで、水曜日以降をどうするかということで、インフルエンザが広がるようだったら閉鎖もあり得るということです。輪内中学校でも、校医とも相談し、今日と明日の2日間を学校閉鎖としました。それから、賀田小学校からも連絡があり、修学旅行から金曜日に帰つてきて、そこで広がつたようで今日は登校する子どもが少なくて、6年生については今日から木曜日まで学級閉鎖としました。尾鷲小学校の4年1組でも発熱の子どもが非常に多くなつたようで、給食を食べてから帰らせることで、明日1日だけ学級閉鎖にするそうです。このように、各校でインフルエンザなどが発生している状況について知っておいてください。今シーズンの運動会について、11月9日で全て終了しました。今シーズンは非常に雨での順延が多かったんですが、矢浜小学校だけは好天に恵まれて、いい天気の中でできました。雨天による判断については、全ての人が納得できるような判断はできないかと思うんですが、天気予報とかグラウンド状況とか、子ども・保護者のことをしっかりと考慮した上で結論を出さないといけません。どちらにしても苦情はあるだろうけども、最善の策でいくしかありませんので、延期を早めに決めるところも何校かありました。平日開催になったので全部を見ることができませんでしたが、宮之上小学校、矢浜小学校、尾鷲中学校についてはほとんど見せてもらいました。尾鷲小学校と向井小学校は午前中に少しだけ見せてもらって、尾鷲小学校の日は別の公務があつたので朝一の尾鷲節踊りだけ見せてもらいました。尾鷲節の取組についてですが、宮之上小学校では尾鷲節の歌の練習もさせてもらって、当日は三味線と太鼓、笛で地域の人も来つてくれて、そこに子ども太鼓も入り、生歌と生伴奏でごく

盛り上がって、本当に貴重な尾鷲節になったのかなと思いました。尾鷲小学校については、事前に柳蛙会の人に何人か来てもらって、最初から手の上げ方とかもきちんと教えてもらってから練習に入つて、とても良かったということでした。さすがに300人で踊るので、迫力ある尾鷲節でした。昨年から特に尾鷲節にスポットを当てて、尾鷲の伝統文化と位置付けて取り組んでいて、だいぶ定着してきたのかなと思います。それでは、事項書4の教育長報告に入ります。

【主な教育長報告】

- 10月24日（金）教育懇談会
- 10月26日（日）多気町合併20周年式典（市長副市長代理）
- 10月27日（月）宮之上小学校運動会（雨天順延）
- 10月27日（月）子どもの読書活動推進計画策定委員会
- 10月28日（火）向井小学校運動会（雨天順延）
- 10月28日（火）行政常任委員会
- 10月28日（火）教職員組合市長への上申
- 10月29日（水）尾鷲商工会議所青年部（ドッジボール寄贈）
- 10月30日（木）紀州支援事務所来庁
- 11月 1日（土）尾鷲市民文化展
- 11月 2日（日）尾鷲小学校運動会（雨天順延）
- 11月 4日（火）指定管理評価委員会
- 11月 8日（土）矢浜小学校運動会
- 11月10日（月）とちのもり保育園遊具贈呈式
- 11月11日（火）三重の教育談義（津市）
- 11月11日（火）第2回尾鷲市スポーツ推進計画策定委員会
- 11月12日（水）第7回校長会
- 11月14日（木）秋の子ども真中月間街頭啓発
- 11月16日（日）尾鷲中学校文化祭

教育長報告は以上です。教育長報告について何かございますか。なければ、事項書5の報告事項に入ります。報告事項（1）「全国学力・学習状況調査の結果を受けて」ということで、私からお話ししてもらいます。以前少し話させてもらったところですが、今回は具体的な学力状況を報告したいと思います。先生たちの学力向上推進委員会というのがあるんですが、夏休みぐらいにそこでの話を元にして各校の分析なども含めて、この前の校長会でも同じようなことを報告しましたので、それを委員さんにも知っておいて欲しいので、

少し長くなりますがお願ひします。前回の校長会で、誤答から子どもたちの思考の流れを分析して、どこが読み切れていないかをしつかり把握して、次への指導に役立ててほしいと指示を出しました。今回の問題を見てみると、小学校算数では 1 問目から文章や表、グラフを読み込んでいかないといけない問題から入っています。子どもたちは相当面食らったのではないかと思います。2 問目は図形です。比較的、基本を問う問題です。「平行四辺形の作図」は県平均より低い学校が見られました。コンパスを使っての作図です。この作図方法は標準的だと思います。何回かこの方法で作図練習はやったと思いますが、定着していなかったということです。次に、「台形の定義」を問う問題です。『向かい合った 1 組の辺が平行な四角形』この定義がしっかりと頭に入っているかを確かめるために、向きを変えて 3 つ見つける問題です。どうしても上底・下底が上下になった定番のイメージが強いので、ごまかされます。これも県平均も低いし、本市も低い学校が見られました。やはり台形がひっくり返ったり、横向いたりといふつのパターンを見せておく必要があります。学力向上推進委員会ではコンパスでの作図もやっているし、台形もいろいろなパターンも見せてきたのになあと嘆いている先生もいました。定着までには至っていなかったということです。次の 3 問は本市が特に低かったものを載せました。子どもたちがどうして、どこでつまずいているのかを知ってもらいたいということで、問題 1 は 5 角形の面積の求め方です。多角形を分割して、既習の図形（長方形や三角形等）の求積の公式を使って解く問題です。学習していない学校はないと思います。直線イオを選択すると、三角形と台形に分割できます。その 2 つの図形を公式を使って解けばいいのです。直線ウオを選択すればひし形と三角形に分割できます。それほど複雑な図形でもないので、子どもたちがどこでつまずいたのか、吟味しておく必要があります。また、「式や言葉を使って書きましょう」というのが、子どもたちには高いハードルになっています。問題 2 は通分のことを聞いています。授業の中で、通分を勉強するとき『もとにする数』という言葉を使っています。次の問題で、 $1/2 + 1/3$ の計算であれば、県平均も市平均もよくできています。そこでは通分もできているのでしょうか。やはり、ここでも計算や言葉を使って書きましょうというのがネックになっているのでしょうか。問題 3 も非常に低い数値となっています。まず、問われている意味が理解できなかった子どもが多かったのではないでしょうか。誤答の 1 例

として、ウとエを選んで、 3×7 で 21 になっている子がいました。かんなさんの 1 日に手を洗うときに使うハンドソープの量を導き出しています。「使いかけのハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるか」この文章をイメージ化できないのかもしれない。文章を読んでイメージ化する訓練を多く取り入れなくてはいけません。上記の 3 問とも式や言葉を使って答えるという形式です。そういうことも日頃から意識して取り組む必要があります。次に中学校数学です。小学校と違い、導入は短問題が 5 問あり、取り組みやすかったのではないかと思います。ある程度、ここで点数を稼げるところかなと思いきや、あまり稼いでいません。『素数』『三角形の内角・外角』が思ったほど解けていませんでした。6 問目以降は、相当、文章を読み切らないと最終の問題に到達しません。問題を見ただけでも閉口した子が多くいたのではないでしょうか。1 については、文字でなければ、小学校でも解ける問題です。この誤答はどういうのがあったのか、中学校では割合は話題にはなりませんかと校長にも問いました。小学校では、子どもたちがなかなか乗り越えられない単元です。おそらく多くの子が理解しきれないまま中学校に上がっているのでは想像します。中学校はその上に、文字、方程式とくるわけですから、なお大変でしょう。そのあたりを小学校と交流できるといいです。小学校では 2, 3 年ぐらいから倍の勉強がきて、そのあと本格的に 5 年生で百分率を学習します。しかし、なかなか理解させるのが難しいです。具体的な 8 g とか 35 cm という中で、元にする量を 1 とみて、比べられる量が 3 とか 1.5 になるというのは理解しにくいのでしょう。それが 0.7 となり、それが 70%となってくると混乱するのでしょう。やはり、系統立てて学習しなくてはいけない単元です。2 は県も市もよくありません。グラフでは傾きとしてよく出てきますが、変化の割合というののは初めはあるとしても、使う頻度は少ないのかもしれません。どのあたりが定着しない原因なのか、グラフでは『変化の割合』というより、『傾き』としての扱いが多いからかもしれません。どのような誤答があったのかを見ておいてほしいです。3 の図形問題は、入試の図形問題からすれば非常に考えやすいと思いますが、市平均はよくありません。県平均も驚くほど低いです。どこにこの問題の難しさがあるのでしょうか。子どもたちがどうしてそういう回答をしたかは子どもに聞かないと分かりません。ただ、誤答を見ることにより、大まかな子どもの思考の流れが予想できます。ぜひ、正解・不正解だけじゃなく、

「誤答から探る」ということを大事にしてください。学力向上推進委員会でも、「これはできると思ったのに」「授業でも何回かやったところなのに」「これはそんなに難しいかな」という声が聞かれました。教師ならそうだと思います。やってもやってもなかなか定着しないのが学力かもしれません、忍耐強くやるしかないです。そのときに子どもたちの思考に沿った教え方ができるように「誤答から探る」を大事にしてくださいということは言いました。令和4年度の小学校6年生が今年度の中学校3年生です。6年生の時の調査結果は国語・算数・理科の全てにおいて、県・国との差が2桁台でした。今回、中学3年ではその子どもたちが県・国の平均を下回っていますが、その差は1桁台に収まっており、この3年間で学力向上がなされたことが分かります。次に、児童生徒質問紙です。以前も説明したように、70問くらいある中で、学力に関する県民運動の関係で17項目をピックアップして今回出しました。基本的生活習慣とか、自尊感情、将来の夢、平日の学習時間、読書に関してなどでしたが、小学校の場合、今回マイナスポイントが増えて、前向きな姿勢が少し停滞したような気もします。ただ、『学校に行くのは楽しい』『先生との関わり』は非常に高い数値が出ています。小学校の『平日の学習時間』(1時間以上)は昨年度より、今年度は少し改善していますが、県平均と比べると、尾鷲の子どもたちの家庭学習の時間が低い状況が続いています。学力向上推進協議会の取組でもある家庭学習の時間の底上げを進めていかないと、点数もですが、自ら主体的に学習をするという学力向上の究極が強化されていきません。宿題との兼ね合いもありますが、高学年になれば復習を中心に自ら机に向かえるようになってほしいものです。中学校の質問紙においても、令和4年度の小学校6年生のときは、相当数の質問項目が県平均を下回っていました。その点においてもその子どもたちが中学3年になり改善が見られました。やはり前向きな姿勢が学力向上にもつながっているのだと思います。『自尊感情』『先生との関わり』はとてもいい数値が出ています。尾鷲の特徴であるウェルビーイングは今年度もいい状況で生徒たちは生活していることが分かります。『将来の夢や目標を持っている』が昨年度に引き続き県平均を下回っています。コロナ禍も落ち着いてきているのに、子どもたちには将来に夢を抱くことができない世の中なのかなあと感じます。また、今回『平日の学習時間』が大幅に下がりました。昨年までの4カ年は県平均を上回るくらいの数値だったため、今回の数値には驚きました。日常、家

で勉強しないという実感は学校側も持っているのでしょうか。中学3年生が2学期以降受験を控えて、家庭学習の時間が増えてこないことにはどうしようもありません。ただ、勉強しなくても地元高校なら入っていけるという風潮がまん延してしまっては、勉強しないでしょう。やはり学年が上がるほど、この項目は上がっていってほしいですし、人生の中で高校受験の時が一番勉強したという方が多いのではないかでしょうか。それが2、3年生のときと変わらず平行線では、高校に入ってからも伸びが期待できません。勉強しなくとも入れる高校では目標にならないでしょう。やはり目標がほしいですね。ぜひ、学校でもそういうことも話題にのぼらせてほしいです。今日は、学力調査で子どもたちがどんなことに取り組んでいるのかを知ってほしいと思って、このような報告をさせてもらいました。先生方はこれらを一つの結果として、それも学力の一つとして考えて、力を付けていくにはどうすればいいか、日常的に模索してくれています。今回、特に校長先生方に言ったのは、誤答が、どうしてそういう答えになってしまったのかをしっかりと見てやって、軌道修正してあげてほしいと言いました。このあたりが今回の学力調査での具体的なまとめかなと思います。このことについて、何かありましたらお願ひします。よろしいでしょうか。では、次をお願いします。

事務局：報告事項（2）おわせっこ共育フェスティバルについて、資料2をご覧ください。本年度で11年目となります。11月28日（金）9時20分から11時の間で行われます。テーマとしては「尾鷲で生きる、尾鷲で学ぶ」ということで、特に尾鷲に関係している人に来ていただいて、いろんな話を来ていただくようなところを今回は企画しております。主なプログラムのところを見てください。9時20分から始まって、先ほど言った尾鷲に関係している方ということで、9時30分から尾鷲市役所職員として青鷲会の人に講演を依頼しております。尾鷲のいいところとかいい人、いいことということで、お話を来ていただくようにお願いしております。ただ、聞くだけではなくて、聞いた内容をもとに、感想を言って交流したり、意見を出し合いながら深めていきたいというふうに考えています。10時20分からは賀田小学校の発表ということで、トチの実学習について発表をしていただきます。その発表後、また感想とか意見の交流をしていきます。11時55分閉会となっております。今年度は全学校の全学年で全員が参加ということで、初めての尾鷲市全体が揃う共

育フェスティバルということで企画しておりますので、保護者の方がちょっと入場できないというところはあるんですが、初めてこのように本当に全員が揃った共育フェスティバルを企画しておりますので、見ていただけたらと思います。今まで4回の実行委員会を開きながら、少しリニューアルした共育フェスティバルになっていきますのでよろしくお願ひします。この行事で、見る態度や聞く態度を育てようという目的とか、先ほど教育長の言われた自尊感情やウェルビーイング的な、参加するみんなが幸せな嬉しい気持ちになれる、温かい時間を作ろうということで取り組んでいきますので、よろしくお願ひします。以上です。

教育長：はい。例年実施しているおわせっこ共育フェスティバルで、少しリニューアルしたということで、よろしくお願ひします。教育委員さんの席は用意しておりますので、ぜひ見に来ていただければなと思います。では、次をお願いします。

事務局：はい。資料3をご覧ください。こちらは子育てHAPPYDAYのお仕事体験イベント「HAPPYワーク in やんにやん王国」です。こちらは、子育てHAPPYDAYを年3回実施するようになってからできた人気の企画で、今年8年目を迎えます。参加費を300円お支払いいただくんですが、それでこのにやんにやん王国で使える仮想通貨「にやん」500にやん分を300円でご購入いただけます。裏面を見ていただくと、お仕事が18ブースあるんですけれど、この子どもたちがこちらに参加して、体験を通じた報酬として「にやん」をいくら貰えるかというところで、最後に稼いだ「にやん」を景品と交換します。昨年ですが、数年かけて5,000にやんを貯めて、等身大の熊のぬいぐるみを交換していました。その年に交換しきれず余ったにやんは貯めることもできるので、小学校を卒業するぐらいまでに使いきってもらうような形で、8回目を12月14日（日）に行います。よろしかったら見学に来ていただければと思います。お願ひします。以上です。

教育長：はい、非常に人気のあるイベントで、子どもたちも楽しみにしていると思いますのでお願ひします。よろしいですか。では、次に事項書6、審議事項に入りますので、傍聴の方はここでご退席をお願いします。

報道退席

【秘密会】

【全件承認】

教育長：ありがとうございます。その他、何かございますか。なければ、次回開催日程についてお願ひします。

【日程調整】

教育長：では、次回は12月22日（月）午前10時からということでお願ひします。これで第8回教育委員会を閉じます。ありがとうございます。

13時57分 閉会